



分ければ資源、混ぜればごみ ごみの分別にご協力ください

☎ 建設課 生活環境係 ☎62-9114

最近、各地区のごみステーションに、分別が間違っているごみや資源物として収集できるごみが多く出されています。また、指定袋以外の袋に入った状態で出されているごみもあります。

町では、家庭から出るごみを「燃えるごみ」「燃えないごみ」「粗大ごみ」「資源物」4区分に分けて収集しています。家庭で行うごみの分別は、再利用できる資源を増やし、環境への負荷やごみ処理費用の減少につながります。

ごみの分別には、町民一人ひとりの「ひと手間」が必要です。皆さまのご協力をお願いします。

■富士見町の家庭系可燃ごみの排出量・1人1日量

H27	H28	H29	H30	H31
380g	379g	377g	378g	379g

【目標】 1人1日 300g

※平成20年に、富士見町一般廃棄物減量等推進審議会の提言によって定められた数値です



▲全町対象資源物収集の様子

■こんなごみを出すときはご注意ください

ごみの中に、電池や中身が残っているライターなどが混在している場合は、発火の恐れがあり、ごみ収集車や諏訪南清掃センター、南諏衛生センターでの火災事故につながる恐れがあります。

火災が発生すると、ごみ収集や処理に支障が出るだけでなく、作業員に危険が及びます。発火の恐れのあるごみは、以下のように分別してください。

品目	分別区分	出し方
使い捨てライター	燃えるごみ	中身を使い切り、指定袋に入れて出す
スプレー缶、カセットボンベ等	燃えないごみ	中身を使い切り、 穴を開けて 不燃コンテナに入れる
乾電池（使い切り）	資源物	資源物の指定日に出す
リチウムイオン電池などの充電式電池、ボタン式電池	町では収集していません	販売店などに引き取ってもらってください



■家庭で出来る、ごみの減量に取り組みましょう

- ・食品ごみを減らしましょう 「余分に買すぎない」「残さず食べること」が大切です
- ・生ごみの水を切りましょう 生ごみのほとんどが水分です。水を切ることで重さを減らし臭いを抑えられます
- ・生ごみを自家処理しましょう 町から処理器等の購入補助があります

7月1日より全国一斉でレジ袋有料化がスタートしています

軽くて丈夫でとても便利なプラスチック製品ですが、一方で、環境破壊や海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などは地球全体の問題となっています。

7月1日から、全国一斉にプラスチック製買物袋（レジ袋）の有料化が始まっています。

今、私たちにできることは何でしょうか。そのレジ袋は本当に必要ですか。マイバックの持参など、有料化がライフスタイルを見直すきっかけになるよう期待されています。レジ袋削減にご協力をお願いします。

